

令和5年度 地域包括支援センター活動計画 重点目標(認知症項目抜粋)

重点的に取り組む課題と目標

テーマ：認知症の方が参加できる居場所と認知症の理解者を地域に増やしていく

【課題・背景】

前年度の居場所作りでの取り組みを経て、地域住民にとって認知症について、自分事ととらえている人が多いことが分かった。

地域のつながりを持ちながら住み慣れた地域で暮らしていくためには、当たり前に認知症を受け入れ、見守りの目を持ちながら共生できる地域を作っていく必要がある。

【目標】

新たな若い世代への働きかけ方法を検証し、実施に向けて準備する。

民生委員や介護予防リーダーに認知症の理解を深めるための働きかけを継続する。

目標を達成するための活動計画

- ・民生委員と地区連絡会の開催、同時に地域課題会議を合わせて行い、認知症に関する普及啓発や徘徊対策を検討する。
- ・桜ヶ丘元気アップ教室を中心に、介護予防リーダーや住民への認知症の普及啓発を行う。
- ・社会福祉協議会や民生委員と協働。
- ・若い世代への認知症啓発の方法を調査・検証し、実施に向けて準備する。子供食堂、児童館、学童クラブ、などを対象と考える。
- ・若い世代へ先駆的活動に取り組んでいる東部包括よりノウハウを学ぶ。
- ・昨年度から始まった関係性を生かして、和田自治会への認知症に関する啓発講座を企画。

【令和5年度】地域包括支援センター重点目標 認知症地域支援推進員アクションプラン

(西部包括)

月	日時	取組	内容
4		・地域への認知症普及啓発 ・認知症カフェへの定期参加	・元気アップ体操や老人クラブ、サロン等にてミニ講座の継続開催。 ・すみれカフェ、あいくるBandeの再開に伴って、定期参加、出張相談を行う。 ・第二小学童クラブへの聞き取り調査開始
5		・認知症知る月間の企画開始 ・認知症サポートー養成講座の地域展開先開拓	・社協や地域各団体代表者との打合せ開始。 ・東寺方老人福祉館・東寺方図書館へ9月の認知症を知る月間の展示相談開始
6		・子供など若い世代への啓発方法の検証を開始する。	・すみれカフェ・えがおへ定期参加、出張相談。
7			・住宅型老人ホームボンセジュール聖蹟桜ヶ丘と認サボの打合せ開始。
8 ※中間報告			・丘西桜寿会（老人会）9月の講座打合せ いこいの会11月29日の打合せ開始。 ・東寺方老人福祉館・図書館の展示。 ・すみれカフェ・えがおへ定期参加、出張相談。
9		認知症知る月間	三方の森元気アップ体操、東寺方すこやかサロン、桜ヶ丘西桜寿会（老人会）などの普及啓発講座の開催。東寺方福祉館・図書館にて普及啓発の展示開催。 ・住宅型老人ホームボンセジュール聖蹟桜ヶ丘にて認サボ開催。
10			
11			
12 ※評価		地区連絡会による民生委員への普及啓発	・地区連絡会兼地域課題会議の開催、認知症徘徊ツールの普及啓発。 ・民生委員より、児童関連の地域活動の情報収集をする。
1			
2		・年度の活動総括 ・次年度計画	
3			